

こころんNEWS

NO. 12
H20年10月

7月から始まった4つのワーキンググループも、11月の作業部会全体会にむけて佳境に入ってきました。多いところでは視察や会議を含めると11月までに合計12回集まっているグループもあり、盛り上がりを感じます。11月の作業部会全体会での、それぞれのワーキンググループからの報告が楽しみです。今後はそれぞれのワーキンググループからの提案を受けて、いよいよ計画の骨子作りに入っていきます。

10月の経過報告

◆10/7 第9回専門職部会

昭和区版の保健福祉医療の冊子を作るため、高齢者のニーズと窓口を整理することから始めました。また、作業部会の進捗状況をお伝えし、今後も情報交換しながら進めていくことになりました。

◆10/15 プロジェクトチーム会議

昭和区社協として、地域福祉の業務と在宅支援の業務が連携して事業を実施していくことを検討。とくに地域のなかでの見守りネットワークの在り方について検討しました。

◆10/15 学区担当者会

学区計画のふりかえりと今後の進め方、来年度以降の進め方について話し合いました。

◆10/21 滝川学区 第4回作業部会

今、学区で行われている取り組みを整理するとともに、引き続きどんな取り組みをしていったらいいか議論しました。

◆職員ミーティング 10/3・10/9・10/23

◆所属別ミーティング

＜訪問介護部門＞ 10/22

＜ケアマネ部門＞ 10/30

◆ワーキンググループ

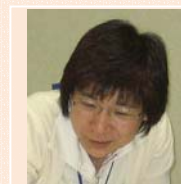
＜福祉課題＞ 10/16

＜担い手＞ 10/7・10/28

＜福祉意識＞ 10/27

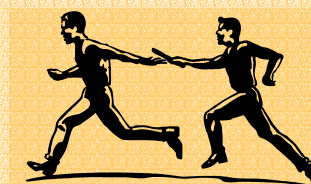
＜場づくり＞ 10/3・10/21・10/30

社協の高濱です。滝川学区の計画作りに関わらせてもらっています。計画作りも4回目の作業部会、「滝川学区をどんなまちにしたいか」という4つの目標に向けて、委員の皆さんから様々なアイデアや具体的な提案が次々と飛び出し、予定時間があっという間に過ぎてしまいました。会場の滝川小学校特活室を出ると、音楽室から子どもたちの歌声が…この子たちの笑顔があふれる滝川学区にするために、計画をもとに学区の皆さんと一緒に福祉活動に取り組んでいかれることを願っています。



11月の予定

- ①プロジェクトチーム会議 11/19 (水) 13:00~14:30
- ②第10回専門職部会 11/7 (金) 19:00~21:00
- ③ワーキンググループ
 - ＜担い手＞ 11/11 (火) 18:00~20:00
 - ＜福祉意識＞ 11/4 (火) 15:30~17:30
 - ＜福祉課題＞ 11/11 (火) 10:00~12:00
 - ＜場づくり＞ 11/4 (火) 15:00~17:00 11/14 (金) 14:00~16:00
- ④学区計画 滝川学区 作業部会④ 11/12 (水) 9:30~11:30
- ⑤職員ミーティング 11/5 (水) 17:00~ 11/6 (木) 9:30~ 11/10 (月) 9:30~ 11/17 (月) 13:30





福祉課題

【第4回 10/16 (木)】

これまで話し合われた、既存の組織や団体の活動を明らかにし、情報提供を行うためにどのように取り組んでいくかをより深めて話し合いました。

・調査用紙の内容⇒組織・団体が実際にどのようなニーズに対応することができるのかを明確にする必要がある。

・情報提供の方法⇒冊子、ホームページにするか、現段階では固定しないことにした。冊子ならば誰に提供すれば有効活用されるか。HPならば更新はどうするのか、を今後検討していきます。

・組織・団体間のつながりへの働きかけ⇒他とのつながりを望まない組織・団体もあると思われるので、調査用紙にて意識確認を行う。

今後、上記についてより具体的に検討していくと共に、全体会に向けメンバー間で課題や方向性の確認・共有化を行っていきたいと思います。 【亀井さん】



担い手

第4回・第5回は、10/7・28いずれも社協ボランティアルームで開催。

9月から、経験豊富な白金女性会会長・村瀬さんに加わっていただき、より活発な意見が飛び交っています。

10/7、福祉推進協議会の規約を見直したところ、「住民主体による地域ぐるみの福祉活動をすすめる」という目的を達成するための、「福祉ニーズに対応した福祉活動」という項目が、なかなか機能しにくい状況にあることが判明。

10/28には、第1次地域福祉活動計画の冊子も見直しました。それには、現在私達が検討していることがほとんど取り上げられていることに驚いたと共に、<冊子(策定計画)を作っただけで終わらず、いかに実行に移していくかが重要>だということが解りました。

そこで今回の活動計画としては、推進協の機能を拡充し、(ボランティア部(仮称)の新設)、担い手をどういう方法で発掘・活用していけば良いかということを具体的に話し合っています。 【蟹江さん】

ボランティアルームの声



場づくり

第4回(10/3)ではまず、主任児童委員が中心となり開かれている、子育てサロン伊勝チューリップの見学報告がされました。そのあと「誰のためのどんなたまり場か」を対象者別に人数・回数・目的・内容・立地条件・世話人や協力者のイメージに分けて話し合いました。理想とするたまり場のより具体的なモデルケースを作成することとなりました。 【村上さん】

第5回(10/30)は実際にたまり場を作る(作った)場合どのような支援が考えられるか、大きく3つを中心に話し合いました。

- ① 「物理的な場所について」…「場」情報の収集と、提供してくれる側への“説得工作”、そしてこれを運営意欲のある人たちに知らせる告知。
- ② 「世話人の確保」…2~3の既存団体から「場の運営ができる人材」を探し出し、結びつける仕掛け作り
- ③ 「運営上の支援」…サロン運営者の交流や研修など

⇒この①②③を結びつける『総合サポートセンター』のようなものが作られると実現に向けた行動が開始できるのでは、という大変煮詰まった話し合いになりました。 【小塚さん】



福祉意識

【第5回 10/27 (月)】

前回、各自で持ち寄った「認め合う気持ちを醸成するための事業案」について具体的な内容を話し合い、手話コーラスなどを通して行われる交流事業、機関紙などの情報の強化、推進協との連携事業の組織作り、啓発事業、学習会や講演会など、グループごとに分けていきました。グループ分けをすると色々な角度から福祉意識を高められることに気づきます。

その中で、このWGとしては、当事者との交流を大切にしたいという思いから①手話コーラスや車いすダンスなどのコミュニケーションを通じた交流事業 ②当事者と一緒に自分たちの町を歩いてみよう!という2つの事業を地域の中の団体や学校などを対象に取り組むことになりました。

また、例えば学生を対象とした事業を行う場合には、まず学校側が意識を持つ必要があります。5カ年計画ということで、対象者の周囲の方などできる限りたくさんの方が関われる内容にと考えていきたいと思っています。

残りわずかですが、より具体的な事業内容になるよう話し合いを進めていきたいと思っています。 【竹田さん】